

美術科教育学会会員，教育関係者各位

2021 年度 美術科教育学会 授業研究部会開催のお知らせ

実践者と研究者による授業研究のプロセス Vol.1

このたび、2021 年度の美術科教育学会（東京大会）がオンライン開催となることが決定いたしました。（美術科教育学会東京大会 HP：<https://confit.atlas.jp/artedutyo2022>）

授業研究部会も対面での実施を避け、Zoom のリアルタイム配信によるオンライン開催を行うことといたします。

昨年度の授業研究部会では、学校現場で実践家としてご活躍中の 9 名の先生方をお迎えし、「授業を研究するとは」と題して、コロナ禍前後の授業研究に関する報告や対談を行いました。

今年度の授業研究部会は、昨年度の成果を引き継ぎ、次の 2 つの柱から研究活動を始めています。

① 現場の先生方との共同研究

愛媛大会でご登壇いただいた 9 名の先生方との共同研究プロジェクトを始動いたしました。共同研究プロジェクトの立ち上げに際してスポットを当てるのは、現場の先生方が日ごろ抱いている“リサーチ・クエスション”です。この「研究上の問い」から設定されたオープン・エンデッドな研究課題に対して、複数のチームから成る継続的な共同研究を約 2 ヶ年かけて実施していく予定です。

② 学会誌掲載論文の分析を通じた授業研究に関する調査研究

実践面だけでなく、学術面からも授業研究を強化していくべく、当部会のコアメンバーが美術科教育学会誌全論文（No.27-42，全 546 篇）の概要分析を開始しました。この調査から、「授業研究史の俯瞰」、「実践と理論の往還」に関する考察を進めていこうとしております。

そこで今年度の東京大会においては、上記の「共同研究プロジェクト」と「学術論文の調査・分析」を往還的・関連的に捉え、今後の共同研究のあり方、問いの意義や課題などを議論の俎上に載せながらフロアーの皆様とともに来年度以降の取り組みを見据えた展望を開きたいと思っております。

当部会の議論では、「(成功例としての) 研究成果」だけでなく、そこに至るプロセスを大切にしていきます。ご登壇いただく実践家の方々と参加者の皆様とのカジュアルな情報交流や議論を通して、日々私たちが意識している子供のための授業研究とその問いの意義を考えていく機会となることを願っております。※本会は、学会員以外の方でも無料でご参加いただけます。

多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【記】

① 日時：2022年3月5日（土）17：00～19：00

② 参加費：無料（会員に限らず、どなたでもご参加いただけます）

③ 方法：Zoom ミーティング（事前にアプリのインストール等ご準備をお願いいたします。）

※ 当日は、後ほどお送りする返信メール内にある Zoom の URL をクリックいただくか、専用の ID、パスコードを入力してご参加ください。

※ URL や ID などの転送、当日の録画等をご遠慮ください。

④ 参加申し込み

部会参加ご希望の方は、下記の2つの方法から選び、**3月3日(木)まで**にお申し込みください。

(1) Peatixでお申し込み → <https://research-lesson-study.peatix.com/>

(2) メールでお申し込み → 事務局 (lessonstudy.tokyo@gmail.com) までご連絡ください。

★参加ご希望の旨

★ご氏名、ご所属

★メールアドレス

④ 開催の概要

《共同研究を実施する実践家の先生方（校種ごと・五十音順）》

▶ 小学校

栗津 謙吾 先生（成城学園初等学校）

永縄 啓太 先生（横浜市立南太田小学校）

山内 佑輔 先生（新渡戸文化小学校）

▶ 中学校

平田 実 先生（福生市立福生第一中学校）

長尾 菊絵 先生（国立市立国立第二中学校）

湯瀬 明意 先生（川崎市立渡田中学校）

▶ 高等学校

大橋 里沙子 先生（中央大学附属高等学校）

野田 洋和 先生（川崎市立川崎総合科学高等学校）

吉田 浩 先生（東京都世田谷総合高等学校）



事前打ち合わせの様子（Zoom×早稲田大学）

《授業研究部会コアメンバー》

大泉 義一（代表・早稲田大学）／石賀 直之（東京造形大学）／岡 照幸（国立音楽大学附属小学校）／杉坂 洋嗣（東京学芸大学附属竹早中学校）／高橋 文子（東京未来大学）／竹内 晋平（奈良教育大学）／立川 泰史（東京家政学院大学）／名達 英詔（十文字学園女子大学）／藤井 康子（大分大学）／畑山 未央（東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程）

【開催次第（予定）】

時間（120分）	内容
17:00～17:15	開会の挨拶と開催趣旨等のご連絡
17:15～17:45	授業研究部会コアメンバーの新規加入のご報告と研究活動について
17:45～17:55	共同研究プロジェクトの概要説明とプログラム後半の流れについて
17:55～18:00	休憩
18:00～18:40	3チームに分かれての発表と質疑応答（※チームごとにブレイクアウトルーム） ①「 授業研究・課題意識の立て方と実装 」 キーワード：学校教育の課題，教科等横断，地域等連携，探究学習 （登壇者）野田洋和先生（川崎市立川崎総合科学高等学校）／山内佑輔先生（新渡戸文化小学校） ②「 子供の内的変化・教科の特性を捉える研究手法 」 キーワード：内的変化，授業を捉えるポイント，研究手法，美術の教科固有性 （登壇者）栗津謙吾先生（成城学園初等学校）／長尾菊絵先生（国立市立国立第二中学校） ③「 実践研究から導き出される学術研究との比較 」 キーワード：実践と研究の接続，授業づくり，子供の態度の変容，学びのつながり （登壇者）平田実先生（福生市立福生第一中学校）／湯瀬明意先生（川崎市立渡田中学校）
18:40～18:55	全体共有，総括
18:55～19:00	閉会の挨拶，事務連絡

⑥ 問い合わせ先

授業研究部会事務局 畑山 未央（東京学芸大学大学院 連合学校教育学研究科 博士課程）

ご不明点などのお問い合わせはこちらへご連絡ください ▶ lessonstudy.tokyo@gmail.com